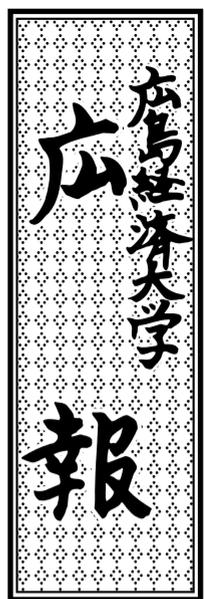




世界は今、転換期を迎えている。各地で起こりうる対立を避けるため、各国はパートナーシップ構築を模索している。混乱の時代をどう生きていくか。カナダのインド太平洋戦略に詳しく、日本通として知られるイブ・ティベルエン教授を迎え、世界平和における日本の役割、変容する教育の在り方、広島で学ぶ学生へのメッセージを聞いた。



発行所
 広島経済大学
 広島市安佐南区祇園
 五丁目37番1号
 郵便番号731-0192
 電話番号(082)871-1000(代)
 オフサイト https://www.huc.ac.jp/

2面	世界とつながる「絆」、国際交流の和と輪
3面	和と輪
4面	私の就職活動体験記
5面	学生たちによる広島経済大学二大祭典
6面	2024年度学生募集要項

Yves Tiberghien

スタンフォード大学博士号取得。UBCの政治学教授、アジア研究所名誉所長、日本研究センター所長。主な研究テーマは東アジアの比較政治経済学とグローバル経済・環境ガバナンスで、アジア各国の大学で教える。2017年にはフランス政府より国家功労勲章シュヴァリエを受章、2022年にはカナダのインド太平洋戦略に関する外務大臣諮問委員会委員を務めるなど、その活躍は多岐にわたる。好きな日本食は、銀ダラの西京焼き。

ハラダ オバマ元大統領が来た後、多くのアメリカ人

が、核兵器を保有する国のリーダーの広島訪問には困難もあると聞きますが、訪問それ自体に大きなメッセージがあったと思いませんか。

教授 多くの点において、非常に重要なサミットだった。核兵器の不拡散に関する声明も盛り込まれた。首脳らが揃って慰霊碑や資料館を訪ねたのも初めてのことだ。国際関係が難しい今、このことは意義深い。とりわけ、広島を訪れた国は、4カ国が核保有国であったことは象徴的だった。広島にあれば、戦争がどれほど恐ろしいものか、理解できる。

学長 核兵器を保有する国のリーダーの広島訪問には困難もあると聞きますが、訪問それ自体に大きなメッセージがあったと思いませんか。

G7広島サミットの成果は 昨年のG7広島サミットの印象はいかがでしたか。

教授 31年ぶりだ。当時、原爆資料館を見たくて来た。久しぶりの広島だが、本当に美しい街だ。この大

学もとても素敵だよ。



イブ・ティベルエン教授

が広島を訪れました。リーダーの行動には影響力がありますね。

学長 カナダと日本は戦略的パートナーですが、両国の関係をどうご覧になりますか。

教授 ここ何年かで最も良い状態だ。世界の問題に対する共通理解が増え、貿易、軍事、外交など多くの領域で新たな取り組みが一緒に進められている。カナダは、インド太平洋戦略において、日本から学んでいる。日本は自由で開かれたインド太平洋戦略のバイオニアだ。この戦略を通じて、両国関係は非常に緊密になった。

学長 日本の果たすべき役割について、どうお考えでしょうか。

教授 日本は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するために、抑止力と対話による安心感のバランスが

大事だ。さらに、日本は、気候変動や生物多様性などに関わる環境ガバナンスにも力を注いでおり、カナダとは多くの価値観や目標を共有している。

We are here to do something great for the world.

教授 さまざまな背景を持つ人々と仕事をする時代だ。家に閉じこもっていることは対処できない。外に出ることは、学生時代に「居

学長 どういう準備が必要でしょうか。

教授 世界が非常に不安定な今、特に若い世代において、対話の機会の重要性は高まっていると考えています。先日バンクーバーを訪れた際、日本コミュニティでもあり、学生にとつて学びやすい環境だと感じました。また、カナダの学生にも広島を訪れてほしいと思うのですが、そうした若い世代の交流をどう思われますか。

教授 今は私たちが大人になった20年前とは違う。気候変動、AI、大国間の競争、グローバルゼーションの危機。非常に多くのことが不透明だ。私たちは異なる方法で若者を育成し、変化と混乱の時代に備えなければならぬ。昨日やったことを明日もやるのではなく、ダイナミックな時代に対応できるように準備が必要だ。

学長 どういう準備が必要でしょうか。

教授 私たちは、現代社会の深刻なパラドックスに対処するうえで重要な考えだ。世界はグローバル化し、旅行もできるし、インターネットにもアクセスできるのに、異なる国同士の誤解が広がっている。私たちは自分たちが習ってきたことを知っていると心持よく、信じている心持よくある。しかし、対立の可能性を断ち切るためには、相手の立場を理解しなければならぬ。カナダの環境は多文化的で、オープンだ。日本の学生にとって、異なる視点から学ぶ良いチャンスになる。

若者の交流の重要性 世界が非常に不安定な今、特に若い世代において、対話の機会の重要性は高まっていると考えています。先日バンクーバーを訪れた際、日本コミュニティでもあり、学生にとつて学びやすい環境だと感じました。また、カナダの学生にも広島を訪れてほしいと思うのですが、そうした若い世代の交流をどう思われますか。

ハラダ 私たちも、カナダの大学との交換留学を推進したいと考えているところですが、

教授 プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)は西海岸にあり、日本からも来やすい。平和に関する短期コースやプロジェクト、共同プロジェクトで学生交流を始めるといい。

ハラダ 私たちも、カナダの大学との交換留学を推進したいと考えているところですが、

教授 プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)は西海岸にあり、日本からも来やすい。平和に関する短期コースやプロジェクト、共同プロジェクトで学生交流を始めるといい。

ハラダ 私たちも、カナダの大学との交換留学を推進したいと考えているところですが、

教授 プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)は西海岸にあり、日本からも来やすい。平和に関する短期コースやプロジェクト、共同プロジェクトで学生交流を始めるといい。

ハラダ 私たちも、カナダの大学との交換留学を推進したいと考えているところですが、

教授 プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)は西海岸にあり、日本からも来やすい。平和に関する短期コースやプロジェクト、共同プロジェクトで学生交流を始めるといい。



国際教育交流センター長 ジョージR.ハラダ

ハラダ 私たちも、カナダの大学との交換留学を推進したいと考えているところですが、

教授 プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)は西海岸にあり、日本からも来やすい。平和に関する短期コースやプロジェクト、共同プロジェクトで学生交流を始めるといい。

ハラダ 私たちも、カナダの大学との交換留学を推進したいと考えているところですが、

教授 プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)は西海岸にあり、日本からも来やすい。平和に関する短期コースやプロジェクト、共同プロジェクトで学生交流を始めるといい。

ハラダ 私たちも、カナダの大学との交換留学を推進したいと考えているところですが、

教授 プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)は西海岸にあり、日本からも来やすい。平和に関する短期コースやプロジェクト、共同プロジェクトで学生交流を始めるといい。

ハラダ 私たちも、カナダの大学との交換留学を推進したいと考えているところですが、



学長/在広島カナダ名誉領事 石田優子

協力をお願いします。
教授 ぜひやりましょう。
学生へのメッセージ
学長 先生は世界を舞台に活躍しておられます。先生のようにタフに生きていくためのアドバイスをいただきますか。
教授 私はいつも、3つのヒントを贈っている。まず、他人について学ぶこと。次に、世の中の悪いニュースに圧倒されず、自分が毎日できる何か良いことに集中すること。いつもポジティブでいることが大事だ。そして最後に、人生のバランスをとること。健康のための時間、自然と触れる時間をとることで、世界の問題に圧倒されないようにする。

和と輪

本学は人々が協力し合い、和やかな関係を築くことを大切にしてきた。ここでは、人との「和」を大切に、そのつながりの「輪」を広げているさまざまな取り組みを紹介する。

特産品を活かした「クラフトビール」開発に挑む



道の駅「来夢とごうち」で行われた試飲会及び新作発表会

地域連携による観光課題や地域課題について研究している経営学科藤原ゼミの学生16名が、広島県山県郡安芸太田町及び島根県邑智郡美郷町と協力し、クラフトビールの共同開発に取り組んだ。開発したのは、美郷町の特産品である「マタタビ」と、同じく美郷町の「緑茶」を原材料とした2種類のクラフトビール。ビール離れが進む若者でも飲みやすく、ビールのおいしさに気づいてもらえるような商品開発を目指した。

学生たちは安芸乃国酒造(株)の協力を得て、原材料の収穫や製造実習を体験。自ら収穫を体験することで、生産者や製造者と関わり、より深く特産品について知る機会を得た。完成したクラフトビールは、9月30日、10月1日に安芸太田町の道の駅「来夢とごうち」で開催されたグルメフェアで試飲会及び新作発表会が行われ、地域の方々に披露された。

ゼミ生の加悦ひなのさん(経営学科3年・広島県/比治山女子高校出身)は「特長を活かすために色味と味を工夫しました。試飲会では透明なコップに入れるため、色でも楽しめるように『マタタビ』は黄色、『緑茶』は緑色にする予定でしたが、緑茶の方は思うように色がでませんでした。味は飲みやすさだけでなく、ビール独特の苦みにも気をつけて考えていきました。その結果、『マタタビ』では、女性でも飲みやすいような甘さの部分もあり、スッキリとした味わい。『緑茶』は口にしたときはビールの味が濃いですが、後味がまさに緑茶で、若者以外でも飲みやすい味わいになりました。そして、ラベル作りにも挑戦。花言葉を入れることを提案し、それぞれに込めた思いと花言葉を重ねて表現しました。特産品の良さを引き出すためにはどうしたら良いか考え、主体的に行動し積極的に意見を出していきました。試飲会で飲みやすいと地元の方に言っていただき、喜んでもらったことがとても印象に残っています」と笑顔を見せた。



安芸乃国酒造(株)の方々の協力を得てマタタビを収穫

藤原久嗣教授は「原材料の調達から製造工程全てに携わり、それぞれに関わる人たちの思いを感知し製品化することで、ものづくりの原点を知り、今後の地域貢献のあり方を考えてほしいと思います」と学生たちの今後の活動に期待を寄せた。



学生のグラフィックデザイン作品が企業PRに採用

興動館科目「私たちの広島」PR実践では、まだ知られていない広島の魅力をもっとPRするための企画を立案し、フィールドワークを通して、感性を磨き、企画力と発想力を身につけることを目的として、パンフレットやチラシの制作を行っている。

今回、高須賀直桜さん(メディアビジネス学科3年・愛媛県/松山南高校出身)が制作したグラフィックデザイン作品が、機械設計などに取り組む大興グループのPR用デザインとして採用された。昨年の春から会社説明会で学生に配付されるクリアファイルなどに利用されている。



デザインしたクリアファイルを手にする高須賀さん(左)

「学生諸君、未来の話は好きですか?」と自身で考えたキャッチコピーとともに、未来都市の夜空に同グループが取り組む5事業をイメージしたカシオペア座の五つ星を描き、全体を通してシンプルに仕上げた点が評価された。

デザインは同グループのポスターなどにも使われる。高須賀さんは「アイデアを考えるうえで、企業の方の思いを汲み取りたいと思い、たくさん質問をして、入念にリサーチを行いました。考えたデザインを学科の先生方に見ていただき、デザインやマーケティングの視点で意見をいただきながら完成することができました。私の作品が知らないところまで形となって届いていることが不思議な感覚ですが、見た人の記憶に残ってくれば嬉しいです」と喜びを語った。



広島市安佐南区社会福祉協議会と地域連携協力に関する協定を締結



協定書を手にする広島市安佐南区社会福祉協議会上田昭人会長(左)と石田優子学長(右)



「平成26年8月豪雨」で設置されたボランティア受付窓口



「平成30年7月豪雨」の復興支援として土砂撤去作業を行う学生たち

8月23日、本学と広島市安佐南区社会福祉協議会が地域活動での連携を進める包括的な協定を締結した。

本学と同区社会福祉協議会は、興動館を立ち上げた2006年をきっかけに、これまで17年間、学生による地域でのさまざまなプロジェクト活動等を通して、日頃から交流や相互協力関係を積み重ねてきた。特に2014年8月に発生した「平成26年8月豪雨」では、同区社会福祉協議会と連携してボランティアセンターの学内受付窓口を早々に設置することで、迅速なボランティア派遣を実現。その後もこれまでの信頼関係を活かし、災害発生時には、率先して支援活動を実施してきた。こうした実際の活動に基づき築いてきた関係は、互いの人間同士の信頼によるところが大きく、将来的に安定した連携継続と強化のため、組織として協定を結ぶこととなった。

協定の内容は、①ボランティア活動の推進②地域活動やまちづくりの推進③大学生の人材育成に関する分野④その他(祇園・興動祭他)である。

協定の締結により本学と地域双方にとって連携しやすい環境が整った。今後も地域連携の継続と強化を目指していく。

「子ども食堂イベント」で子どもたちを笑顔に



子どもたちと一緒にカレーを食べる様子

昨年7月に認定された、興動館入門プロジェクト「子ども達の未来をつくろうプロジェクト」が、初の主催イベント「子ども食堂イベント」を9月16日、興動館にて開催した。

本プロジェクトは「子どもたちが健やかに夢を育むことができる社会の実現」を目指すことを目的に活動している。

広島市安佐南区社会福祉協議会に規格外の野菜などを扱う

フードバンクを紹介してもらい、食材の提供を受け、キャンパス内の施設で調理の練習を重ねてきた。地域の子どもの食堂を通じて参加を呼び掛け、親子ら約20名が参加。学生たちの手作りカレーを食べた後、一緒に風船で遊んだり宿題をしたりして交流を深めた。

同プロジェクトを立ち上げた山崎晋平さん(経営学科3年・広島県/安芸府中高校出身)は「私の過去の経験から、子どもたちのためにどんなことでもいいから役に立ちたいと考え、子どもたちの居場所が作れるようなイベントを開催したいと思い、プロジェクトを立ち上げました。6名でスタートしたプロジェクトですが、現在は25名で活動しています。イベントの開催までに、地域の方々、教職員の方々に協力していただきながら準備を進めることができました。まだまだスタートしたばかりで、改善点も多ありましたが、プロジェクトリーダーとして、相手に配慮した話し方やメンバーとの関わり方について考えながら、今後はもっと多くの方々に来ていただける定期的なイベント開催を目指します」と意欲を語った。

学生たちの活動の輪が地域の子どもの輪へと広がっていく。



交流を通じて信頼関係を築くプロジェクトメンバー

私の就職活動体験記

大学での経験を糧に、自信を持って就職活動に臨む!

身につけた積極性を活かして人の役に立つ仕事をする

「人の役に立つ仕事をしたい」と思い、会社説明会に積極的に参加をして、自分に合う業界を絞っていききました。内定をいただいた企業は、医療機器メーカーであり、患者の方だけでなく、医療従事者にとって一番の味方でいられる企業だと知り、医療の知識がない私でも社会貢献ができることにやりがいがあるのではないかと、思い、志望しました。

大学では、「地域発信プロジェクト」に所属し、地域や企業の方と協力してイベントを作り上げるイベント部署のリーダーという責任ある立場を経験しました。リーダーとして、メンバーの意見をまとめるだけでなく、個々の本当の思いを引き出し、理解することを強く意識して活動していました。意見が異なり、うまくいかないときもありましたが、人との関わり方、物事を率先して動かす力と積極性を身につけることができました。

こうして培ってきた力や経験を就職活動でどのように伝えていくのか、ゼミの先生、キャリアセンターの職員の方に何度も面談をしていただきました。心強い味方がいることで精神的にも支えられ、定期的な面談を通して自分のことを客観視できて自信にもつながりました。また、気持ちを素直に打ち明けることで考えが整理でき、大事な選択をすることができました。

卒業後は、向上心を持ち続けて働きたいと思えます。4年間、プロジェクト活動だけでなく、スチューデントアシスタントやこまち会、4年次になってから新しいアルバイトに挑戦するなど、現状に満足することなくチャレンジし続けてきました。この気持ちを社会人になっても維持して、自分の仕事に誇りを持ってスキルを高めていきたいです。



経済学科4年 入江 南椰さん (広島県/安古市高校出身)

内定先
株式会社
ジェイ・エム・エス

— 後輩への Message —

ゼミの先生からいただいた「たくさん悩むことは悪いことではなく、それだけ真剣に向き合っている」という言葉を皆さんにも贈ります。これからたくさん悩むと思いますが、悩んだうえで決断はその過程も含めて自分を強くしてくれます。困ったときは素直に人に頼ってください。心強い味方が広島経済大学にはたくさんいます。

内定先
山口県庁



経営学科4年 石橋 伶花さん (山口県/山口高校出身)

— 後輩への Message —

就職活動が始まる時期がどんどん早まり、やりたい仕事はまだ見つからないのに就職活動はしないといけない状況に置かれることもあるかもしれません。だからこそ自分が得意なこと好きなことは何かを自問自答し、ここで働きたいと思える就職先を探してみてください。思うようにいかないことに負けず、最後まで頑張ってください。

大学独自の公務員養成講座で未来を切り拓く!

学びのなかで身につけた力で県民を陰から支えていきたい

会社の利益のためだけではなく、国民や地域住民のために働きたいと思ったこと、地元山口県に戻り恩返しをしたいと考え、公務員を志望しました。私にとってゼミ活動と大学の公務員養成講座が公務員を目指すうえで、とても大きな力になりました。ゼミ活動では、道の駅の利用促進について考える活動に取り組みました。現状分析や課題分析を行うために、店舗実習やアンケート調査を試みました。一から企画を作り上げるこの大変さや企業の方との交渉の難しさなどを学び、チームをまとめるために必要な力をつけることができました。また、地域が抱える課題を考え、解決策を提案したことにより、地元のために何ができるのか考えるきっかけにもなりました。

公務員養成講座では、筆記試験の対策だけではなく、面接、小論文、エントリーシートの対策もしていただいたことが心強かったです。特にエントリーシートの対策では少人数の講座のため、細やかな指導をしていただきました。公務員にもさまざまな職種がありますが、職種ごとに書くべきこと、アピールすべきことを教えていただいたことが良かったです。面接練習では、自分ではわかっていることでも面接官は初めて聞く内容なので、具体的に伝えることを教えていただき、ポイントを心掛けて本番の面接に臨むことができました。

山口県庁のインターンシップに訪れた際に、立場を超えて互いに意見を交わっていた職場の雰囲気や印象に残っています。卒業後は、私も自分の考えをしっかりと持ち、周りとのコミュニケーションを大切にしながらいと住民をつなぐ重要な役割を担っていききたいと思っています。

スポーツチームを支えることで、誰かの心を動かしたい!

大好きなスポーツを通して一人でも多くの人を笑顔に

小学生の頃から家族の影響で野球に興味を持ち、将来はプロ野球に関わる仕事に就きたいという思いを持ち続け、その夢を叶えることができました。

夢の実現に近づくために、大学ではスポーツチームの経営や施設の運営について学び、プロスポーツチームへのインターンシップに参加したり、「スポーツによる地域活性化プロジェクト」でスポーツイベントを開催したり、さまざまな角度からスポーツに関わる経験を重ね、関心を深めてきました。

「スポーツによる地域活性化プロジェクト」では副リーダーを務めました。10競技11団体で構成されたNPO法人トップス広島と協力して、イベントの企画・運営を行いました。イベントを成功に導くためには多くの方々の協力が不可欠です。日程や時間、費用などの調整、プロジェクトメンバーの役割分担を考えるなど苦勞したことは多くありましたが、当日はイベントに参加してくれた方々の笑顔を見て、「スポーツには人の心を動かす力がある」と改めて実感し、スポーツ業界への就職を強く意識するようになりました。

就職活動では、良い状態でモチベーションを維持することに苦勞しました。志望度の高い企業の選考時期が遅く、焦る気持ちはありましたが、家では就職活動のことを考え過ぎず、趣味のスポーツ観戦をしたり、ゼミの先生に相談したりしながら前向きな気持ちを維持することで、乗り越えることができました。

就職後は、どんなにも真摯に取り組み、スポーツを通じて笑顔を増やせるよう行動していきます。そして、球団職員の一員として自覚を持ち、今までもお世話になった広島市の街に恩返しをしていきたいです。



スポーツ経営学科4年 佐藤 遥香さん (広島県/三原高校出身)

内定先
株式会社
広島東洋カープ

— 後輩への Message —

就職活動は早く決まったから正解、遅くまで決まっていなかったから不正解ということではありません。自分が納得できる「ここで働きたい」と思える企業を見つけることが大切です。迷うこともあるかもしれませんが、周りの人を頼ったり、今までの自分の経験を信じ努力したりすることで、後悔のない結果が出せると思います。

内定先
株式会社
オプロ



ビジネス情報学科4年 岡谷 明弥さん (広島県/五日市高校出身)

— 後輩への Message —

私は、4つの就職活動サイトを利用していました。それぞれに特徴があるので、自分に合った就職活動サイトを選ぶことが大切だと思います。そして一番大切なことは、自分のアピールポイントを正しく理解することです。自分で見つけることは難しいので、先生や友人などたくさんの人から意見をもらうことをお勧めします。

未経験者からでもエンジニアの道が開けた!

努力し続けることを強みにエンジニアとして活躍する

普通高校出身でパソコン経験がほとんどありませんでしたが、大学から始めたプログラミングに打ち込んできました。培ってきた力を活かせる業界・職種に就きたいと考え、IT業界でのエンジニア職を目指しました。

大学入学後、ゼミや授業のなかで、先生方から「Python」や「自動化」という言葉を耳にする機会が多く、自然に興味を持つようになりました。1年次の終わりに、授業でマクロの記録について学び、自分で作ってみたいと思いました。完成したものを見たときに面白さと奥深さを知り、もっと知りたいと新しい技術を学び、できることが増えることで楽しくなっていました。2年次のときに「Python」で、アルゴリズムを組んだり、スクレイピングでデータ収集をしたり、競技プログラミングコンテストや全国大学生でソフトウェアの共同開発などを楽しくしました。イベント「ハッカソン」に参加して技術を磨いていきました。周りのレベルの高さと自分の力の足りないうところを感じたことで、さらに学ぶ意欲が湧いてきました。

就職活動では、エンジニアを目指す学生のための就職活動サイト「JobEngine」でエントリーした9社の人事担当者の方やエンジニアと面談をしていただきました。面談を通して、自分のアピールポイントは培ってきた技術力だけではなく、「技術を得るまでの過程や勉強してきた努力」だと気がつく機会もありました。自己分析をしっかりできたことで落ちていく自信を持って面接に臨むことができました。

卒業までに、フレームワークの「Ruby on Rails」や「Django」などについて知識を幅広く増やし、言語や製品について勉強しながら仕事を始めるエンジニアになりました。

番組制作を通して、鍛えられたコミュニケーション力!

テレビを見る人が喜ぶ番組を自分の手で作りたい

私は小さい頃からテレビを見るのが好きで、見る側ではなく、番組制作の仕事をしたと考えているようになりました。テレビ番組の制作会社を志望しました。

メディアビジネス学科では、映像制作やメディア・リテラシーなどさまざまな観点からメディアについて学び、その実践としてゼミでは実際に映像制作を行いました。どんな内容にするのか、どんな映像で伝えるのか、話し合っで決定するなかで、撮影や編集に関する知識や技術以外にも、コミュニケーションには、相手への話し方を特に気をつけました。取材相手と良い関係ができると良い作品作りにもつながり、やりがいを実感することもできました。

しかし、採用試験のグループディスカッションでは思うようにいかず苦勞しました。発言が得意な学生の空気に圧倒され、焦ってしまいました。何回か練習をかね、ようやく周りを見て、自分の意見を言うようになっていきました。コミュニケーション力を発揮できるようになり、培ってきたコミュニケーション力を発揮できるようになりました。上手くいかず、落ち込んだときは、ゼミの先生やキャリアセンターの職員の方に相談をして、的確なアドバイスがもたらされたことでポジティブな考え方に変わっていききました。こうしたサポートがあったからこそ就職活動を乗り越えることができたと思います。内定が決まったときもキャリアセンターの職員の方が自分のことのように喜んでくれたことがとても嬉しかったです。

卒業後も素直さ謙虚さを忘れず、社会人としての自覚を持ち、何事も好奇心旺盛にチャレンジしていきたいです。



メディアビジネス学科4年 山下 花梨さん (広島県/広島市立広島商業高校出身)

内定先
株式会社
ゴシック

— 後輩への Message —

就職活動では、選考に続けて落ちることがありますが、すぐに気持ちを切り替えてポジティブな気持ちで就職活動に取り組んでください。また、自分だけ内定が決まらなくても、焦らずに休むときは休んで、溜め込んでいることがあれば家族や友人、キャリアセンターの職員の方に相談して、気持ちをリフレッシュして前向きに取り組んでください!

私のゼミナール 雑感

94

経営学部 経営学科 福田正太郎 准教授

私のゼミには、日商簿記等の資格を目指している学生だけでなく、会計の対象である企業分析に興味をもっている学生が多く集まっています。現に演習Iのゼミ生は総勢10名であるが、内4名は経済学科であり、簿記の学習未経験の学生もいる。前期は基礎知識の習得である。簿記会計の知識レベルがまちまちなので、貸借対照表・損益計算書の構造を習得し、借方・貸方という用語を用いるのではなく、左側、右側と説明したほうが、理解しやすい。

企業分析においては、前提とな分析結果は導きだせない。そこで、全員で図書館におもむ

会計の役割を知り活用法を考える



生が選んだ業界及び企業の結果を後期にプレゼンテーション

してその企業が属している業界分析を行っていないければ、妄断して、業界情報の資料収集の方法を習得する。広島経済大学の図書館は蔵書が豊富であり、かつ、整理とされているので、いろいろと試してみたいと願っている。卒業後もいろいろな選択を迫られる場面があるだろう。ゼミで学んだ情報収集分析・数値分析の手法を活かして、選択肢の中から自分にとってのベストを冷静に選択できる人間に成長していただきたいと願っている。

生が選んだ業界及び企業の結果を後期にプレゼンテーション

学生たちによる 広島経済大学 二大祭典

2023 10.22 SUN 第56回 経大祭 テーマ: Progress (前進する・進歩する)

10月22日、第56回経大祭が開催された。今年度は4年ぶりにアーティストを招き、地域の方々を含め、約2,000名の方々に来場いただいた。コロナ禍前の経大祭を取り戻すための一歩を踏み出すという意味を込め、テーマは「Progress」(前進する・進歩する)。天候にも恵まれ、音楽系サークルの演奏やダンスの披露のほか、模擬店や謎解きゲーム等で賑わった。閉会後には、地域の方々に日頃の感謝の気持ちを込めて大学の上空に155発の花火を打ち上げた。



2023 11.12 SUN 第18回 祇園・興動祭 テーマ: 縁~つなげる祇園~

11月12日、第18回祇園・興動祭「縁~つなげる祇園~」が開催された。この祭りは、興動館プロジェクトの学生たちが中心となって企画運営し、学生と地域の方々を交流することを目的として開催しており、今年度で18回目を迎えた。4年ぶりに復活した屋台コーナーや地域団体、プロジェクト活動の様子を紹介する館内イベントなど多彩な催しを実施され約2,000名の方々に来場いただいた。フィナーレでは学生、地域の方々と共に「祇園音頭」を踊り、盛会のうちに終了した。



2023年度 全学ゼミ対抗スポーツ競技大会開催



秋晴れのもとフットサルで汗を流す学生たち

10月27日、2023年度全学ゼミ対抗スポーツ競技大会が開催された。本大会は、スポーツを通じて学生同士の交流を深めることを目的に毎年開催している。今年度は学生と教職員合わせて89チーム928名がフットボール、ソフトバレーボール、フットサルの3種類の競技で競い合い、ゼミ生同士が協力しながら、優勝を目指した。参加した学生からは「勝利はできなかったが、ゼミのメンバーとの仲がより深まった」「来年も参加したい」「優勝を目指したい」と声が聞かれた。本大会により、ゼミの親睦がより一層深まったようだ。

メディアビジネス学科の学生が制作したフリーペーパーをイベントに設置 広島PARCOにて開催された全国的に本が集合する期間限定のイベント「BOOK PARK CLUB 2023」にて、メディアビジネス学科阿部ゼミの学生たちが制作したフリーペーパーが設置された。本学のある安佐南区祇園付近のお散歩情報や本学学生のお悩みなどを載せた「Abengers vol.3」と第94回アカデミー賞を受賞した映画「ドライブ・マイ・カー」の考察を載せた「Disord」の2種類のフリーペーパー。メディア文化の研究を専門とする阿部ゼミでは、紙メディアの制作に取り組みしており、これまでも制作したフリーペーパーを、本学の映画館や書店、学内などに設置してきた。今後はゼミで議論した内容をオンライン印刷のフリーペーパー制作に挑戦する予定だ。



イベントのワークショップで制作した印刷物を手にする阿部ゼミの学生たち

陸上競技部OB有志及び学生課職員、学友会の学生が沿道に設置した応援旗と、本学学生・教職員・OBの方々の応援で選手を後押し、粘りの走り健闘。前回出場16位を上回る総合第14位でゴールした。 硬式野球部監督に 東賢孝氏が就任 11月1日、2015年から本学硬式野球部の監督を務めた堤裕次監督の退任に伴い、新監督に東賢孝氏が就任した。前監督の堤裕次氏は総監督として硬式野球部に残る。 東賢孝氏は、広島県立広島商業高校出身で大阪商業大学を経て社会人野球のリースキンで捕手としてプレー。その後リースキンと伯和ビクトリーズで監督を務め、都市対抗野球大会に9回、社会人日本選手権大会には6回出場し、ベスト4に導いた。2020年からは本学硬式野球部の助監督として選手の指導に尽力してきた。 陸上競技部 陸上競技部OB有志及び学生課職員、学友会の学生が沿道に設置した応援旗と、本学学生・教職員・OBの方々の応援で選手を後押し、粘りの走り健闘。前回出場16位を上回る総合第14位でゴールした。 硬式野球部監督に 東賢孝氏が就任 11月1日、2015年から本学硬式野球部の監督を務めた堤裕次監督の退任に伴い、新監督に東賢孝氏が就任した。前監督の堤裕次氏は総監督として硬式野球部に残る。 東賢孝氏は、広島県立広島商業高校出身で大阪商業大学を経て社会人野球のリースキンで捕手としてプレー。その後リースキンと伯和ビクトリーズで監督を務め、都市対抗野球大会に9回、社会人日本選手権大会には6回出場し、ベスト4に導いた。2020年からは本学硬式野球部の助監督として選手の指導に尽力してきた。



硬式野球部 東賢孝監督

BOOKS 広島経済大学経済研究論集 第46巻 第2号 (2023年11月) 西脇 廣治教授 退任記念号 西脇廣治教授 写真・略歴・業績 西脇廣治先生のご退任によせて 重本 洋一(教授) 【論説】 アダム・スミスの穀物尺度 中川 栄治(名誉教授) J-REIT(日本型不動産投資信託)における実体的利益調整に関する一考察 棚橋 慶太(教授) 【研究集会報告】 共創サービスの失敗と顧客反応との関係性 胡 怡(助教) ◆広島経済大学研究論集 第46巻 第2号 (2023年11月) 【論説】 いじめアンケート調査に対する回答者の態度に関する研究 一ビッグファイブを踏まえた調査運用への一提案ー 青谷 章弘(准教授) 齋藤 玲(東北大学助教) 後藤 心平(准教授) 日本人英語学習者の第一言語へ第二言語が及ぼす影響 一初学者レベルの学習者を対象とした検討ー 石川 佳浩(講師) 学生の皆さんへ 『論集』には先生方の最新の研究成果が掲載されています。最新号は、1号館 玄閣・図書館・メディア情報センター等に置いてありますので、各自自由に持ち帰ってください。また、バックナンバーをご希望の場合は、地域経済研究所まで来てください。

- 弓道部 第71回全日本学生弓道選手権大会出場
- 水泳部 第99回日本学生選手権水泳競技大会【男子】400m自由形【男子】200m背泳ぎ【河本遥音】
- 燃ゆる感動かごしま特別国民体育大会【5000m】男子の部【河本遥音】
- ソフトテニス部 第78回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会出場
- 陸上競技部 天皇賜盃第92回日本学生陸上競技対校選手権大会【男子】800m【東秀太】(3位)【東秀太】(9位)【男子】10000m【藤井奏汰】(27位)
- ▽日本グランプリシリーズグレート11Yogobias レックスチャレンジャカップ2023【男子】800m【東秀太】(3位)【男子】1500m【東秀太】(14位)
- ▽第35回出雲全日本大学選抜駅伝競走(総合14位)
- サッカー部 燃ゆる感動かごしま特別国民体育大会下市市街征・東雅音・村上空(広島県成年選抜メンバーとして出場)
- 女子ハンドボール部 高松宮記念杯男子第66回女子第59回令和5年度全日本学生ハンドボール選手権大会出場
- 空手道部 第67回全日本大学空手道選手権大会出場
- ▽内閣総理大臣杯第51回全日本空手道選手権大会出場
- 男子バレーボール部 第75回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会出場

サークル戦績

2024年度 学生募集要項

学部及び大学院の入試要項を配付しています。
お申込みは本学オフィシャルサイト・電話・メールなどで。
〒731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号
(学部・大学院)入試広報センター ☎ 082-871-1313 / ✉ ent-sc@hue.ac.jp
(留学生)国際教育交流センター ☎ 082-871-1002 / ✉ int-sc@hue.ac.jp

■大学院 博士課程前期課程

【一般選抜(Ⅱ期)】

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程 [研究者養成コース・経済学専修コース] 10名(外国人留学生を含む)
出願期間	2024年1月4日(木)~1月18日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年2月21日(水)・22日(木)
合格発表	2024年3月1日(金)午後10時

【社会人特別選抜(Ⅱ期)】

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程 [経済学専修コース] 若干名(外国人留学生を含む)
出願期間	2024年1月4日(木)~1月18日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年2月22日(木)
合格発表	2024年3月1日(金)午後10時

■大学院 博士課程後期課程

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程後期課程 [研究者養成コース] 3名(外国人留学生を含む)
出願期間	2024年1月4日(木)~1月18日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年2月21日(水)
合格発表	2024年3月1日(金)午後10時

■学部 学校推薦型選抜(資格スカラシップ2期/3期)

募集人員	経済学部(経済学科)/経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	2024年1月4日(木)~1月19日(金)【締切日消印有効】
試験日	2024年2月6日(火)
合格発表	2024年2月16日(金)午後3時
出願期間	2024年2月14日(水)~2月22日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年3月4日(月)
合格発表	2024年3月11日(月)午後3時

■学部 一般選抜(1期 A方式・B方式・国公立受験生支援入試/2期)

募集人員	A方式=経済学部(経済学科50名)/経営学部(経営学科50名・スポーツ経営学科12名)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科12名・メディアビジネス学科10名) B方式=経済学部(経済学科55名)/経営学部(経営学科50名・スポーツ経営学科13名)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科13名・メディアビジネス学科10名)
出願期間	2024年1月4日(木)~1月19日(金)【締切日消印有効】
試験日	2024年2月6日(火)・7日(水)
合格発表	2024年2月16日(金)午後3時
募集人員	経済学部(経済学科10名)
出願期間	2024年1月4日(木)~1月19日(金)【締切日消印有効】
試験日	2024年2月6日(火)・7日(水)
合格発表	2024年2月16日(金)午後3時
募集人員	経済学部(経済学科20名)/経営学部(経営学科20名・スポーツ経営学科5名)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科5名・メディアビジネス学科5名)
出願期間	2024年2月14日(水)~2月22日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年3月4日(月)
合格発表	2024年3月11日(月)午後3時

※試験日自由選択制 2月6日・7日の試験日をどちらか、又は2日とも選択することができます。
同日とも同一学科を受験した場合は、高い方の合計得点で選考します。【1期A方式・B方式・国公立受験生支援入試のみ】
※複数学科併願制 1回の受験で5学科まで出願することができます。【国公立受験生支援以外】
※A・B方式同時出願制 両方式に同時出願することができます(同じ試験日に両方式で出願する場合、B方式は出願数に関わらず、1日につき5,000円となります)

■学部 共通テスト利用選抜(1期/2期)

募集人員	経済学部(経済学科40名)/経営学部(経営学科40名・スポーツ経営学科10名)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科10名・メディアビジネス学科10名)
出願期間	2024年1月4日(木)~1月26日(金)【締切日消印有効】
合格発表	2024年2月16日(金)午後3時
募集人員	経済学部(経済学科10名)/経営学部(経営学科10名・スポーツ経営学科5名)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科5名・メディアビジネス学科5名)
出願期間	2024年2月14日(水)~2月22日(木)【締切日消印有効】
合格発表	2024年3月11日(月)午後3時

※複数学科併願制 1回の受験で5学科まで出願することができます。

■学部 社会人入試試験

募集人員	経済学部(経済学科)/経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	2024年2月14日(水)~2月22日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年3月4日(月)
合格発表	2024年3月11日(月)午後3時

■学部 編入学試験

募集人員	経済学部(経済学科)/経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	2024年2月14日(水)~2月22日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年3月4日(月)
合格発表	2024年3月11日(月)午後3時

※事前審査で編入学年が決定している場合のみ出願することができます。

■学部 外国人留学生公募制推薦入学試験

募集人員	経済学部(経済学科)/経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 6名
出願期間	2024年1月4日(木)~1月17日(水)【必着】
試験日	2024年2月2日(金)
合格発表	2024年2月16日(金)午後3時

※複数学科併願制 1回の受験で2学科以上出願することができます。



学長表彰者



学部長表彰者

■学部 外国人留学生入学試験(Ⅰ期/Ⅱ期)

募集人員	経済学部(経済学科)/経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	Ⅰ期=2024年1月4日(木)~1月17日(水)【必着】 Ⅱ期=2024年2月5日(月)~2月22日(木)【必着】
試験日	Ⅰ期=2024年2月2日(金) Ⅱ期=2024年3月1日(金)
合格発表	Ⅰ期=2024年2月16日(金)午後3時 Ⅱ期=2024年3月11日(月)午後3時

※複数学科併願制 1回の受験で2学科以上出願することができます。

■学部 外国人留学生のための書類選考による入学試験

募集人員	経済学部(経済学科)/経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	2024年1月4日(木)~1月17日(水)【必着】
選考日	2024年2月2日(金)
合格発表	2024年2月16日(金)午後3時

2024年度 総合型選抜・学校推薦型選抜入学試験結果報告

●総合型選抜

入学試験	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
総合型選抜	132	130	117	1.1

●学校推薦型選抜

入学試験	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
学校推薦型選抜	582	579	539	1.1

2023年度 前期資格・能力等表彰者

- ▽学長表彰者
 - TOEIC(700点以上) 岩本綾乃(スポーツ経営学科4年)
 - TOEIC(600点以上) 今村翔一(経済学科4年)
 - 宅地建物取引士 谷田秀斗(経営学科3年)
 - ▽学部長表彰者
 - 日商簿記検定【2級】花屋歌織(経営学科4年)
 - 濱田陸斗(経営学科3年)
 - 谷田秀斗(経営学科3年)
- ▽ファイナンシャル・プランニング技能検定【2級】
 - 谷田秀斗(経営学科3年)
 - 木村颯太(経営学科3年)
 - 基本情報技術者試験 岡谷明弥(ビジネス情報学科4年)
 - ITパスポート試験 藤友亮汰(経済学科4年)
 - 村野颯汰(スポーツ経営学科4年)
 - 岡谷明弥(ビジネス情報学科4年)
 - 鰐石 聖也(経済学科3年)
 - 山隼人(ビジネス情報学科3年)
 - 高田壮真(ビジネス情報学科3年)
- ▽情報学科3年(新田一希)
 - TOEIC(500点以上) 藤井翔永(メディアビジネス学科2年)
 - 文章読解・作成能力検定【2級】 児玉陽一朗(メディアビジネス学科4年)
 - 関岡舞夏(経営学科3年)
 - 折本奏(経済学科2年)

保護者様向けメールマガジン配信中 (通称:HUE(ヒュー)メル)

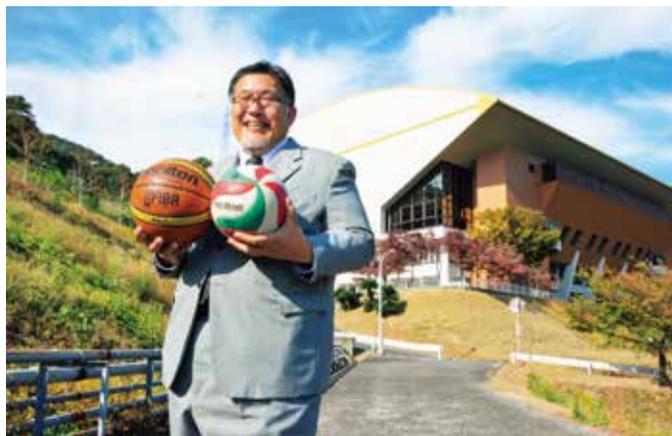
本学では、広島経済大学の最新情報を月初めにメールマガジンで配信しています。ぜひ、ご登録のうえご覧いただき、広島経済大学及び学生たちのことを知る一助にいただければと思います。保護者の皆さまの多数のご登録をお待ちしております。登録方法はオフィシャルサイトから“保護者の方”をクリックしてください。

随想

酷使に耐えている我が家のテレビは、昨年の夏から秋にかけてもフル稼働だった。7月以降、注目のスポーツイベントが連続した。水泳世界選手権以降、甲子園、陸上世界選手権、バスケットボールW杯(ワールドカップ)、杭州アジア大会、バレー

でも記録された。バレー男子は1972年のミュンヘン五輪で金メダル獲得後は下降線を描いた。自力での五輪出場は2008年の北京大会が最後。それが外国人コーチの招聘で復活した。主力の石川祐希や高橋藍、西田有志らがいずれも190センチ前後で世界では短身だが、守りから複雑な攻撃へとつなげる戦術がはまり、予選2位で五輪出場権を得た。結果は上々なのだが問題はこれから。

「バスケットとバレー。五輪出場効果の行方」



経営学部スポーツ経営学科 小笠 喜徳 教授

ボール男女五輪予選、ラグビーW杯。これに毎晩のカップやサンフレッチェが加わるのだからたまらない。放送が重なることも多し、ザッピングしながらのテレビ観戦は毎晩興奮をもたらした。中でも、命の危機から立ち直り、五輪の出場権を得たバスケットとバレーは印象的だった。バスケット男子は米NBA

バスケット男子は米NBA... (スポンサーナリズム論、スポーツビジネス演習I・II、スポーツメディア論ほか)